

王寺町ごみ減量・分別プロジェクト

1. なぜ「ごみの減量化」が必要なのか？

- 近年、地球温暖化により、台風の大規模化や集中豪雨などの自然災害が増加しています。地形的にも水害の危険性の高い王寺町にとって、地球温暖化は「**直接の脅威**」となっています。
 - 地球温暖化対策として、**ごみ焼却時のCO₂排出量を削減**するため、「**ごみの減量化**」に取り組みます。
- SDGsでは、目標のひとつに「持続可能な生産消費形態を確保する」ことを掲げ、各国にモノをつくる過程でのごみの発生防止や、使用後の再生利用等による「**ごみの大幅な削減**」を求めています。
 - 「ごみ問題」は、国際的にも大きな課題となっています。
- 住民の皆様が、ごみの減量化や分別の取組を通じて地域の環境に対する意識、マナー・ルールを守る意識が向上することで、**より住み心地の良いまち**を形成することにつながります。

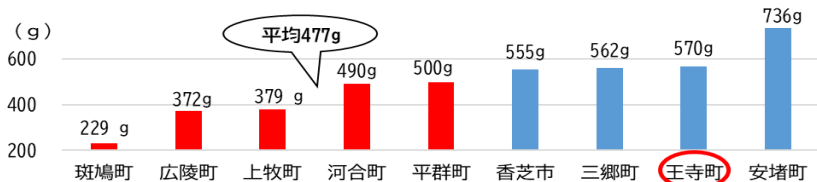
2. 王寺町のごみの状況は？

- 各家庭から出るごみの住民「1人1日当たりの量」を、全国及び奈良県平均と比較しました。■ 王寺町のごみの量は、全国及び県平均の**約1.1倍**にもなっています。(g) **生活系ごみの1人1日当たりの量の推移（再生資源集団回収分を除く）**
-
- | 年 | 王寺町 (g) | 全国平均 (g) | 奈良県平均 (g) |
|-----|---------|----------|-----------|
| H26 | 659g | 614g | 593g |
| H27 | 656g | 611g | 588g |
| H28 | 657g | 598g | 570g |
| H29 | 657g | 594g | 572g |
| H30 | 656g | 594g | 570g |
| R元 | 656g | 599g | 582g |
- 比較: 王寺町は全国平均の1.10倍、奈良県平均の1.13倍。

3. 王寺町の「可燃ごみ」の状況は？

- ごみの中でも「可燃ごみ」は焼却処分されることから、「**可燃ごみ**」を減らせば、**CO₂排出量の削減に直結**します。
- 各家庭から出る可燃ごみの「住民1人1日当たりの量」を、近隣市町と比較しました。■ 王寺町は570gで、近隣で最も少ない斑鳩町の**約2.5倍 (+341g)**もの量となっています。
 - 傾向として、ごみ袋の有料化を実施している町の方が、可燃ごみが少なくなっています。

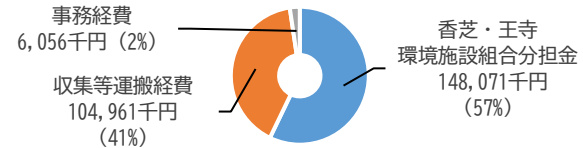
近隣市町の可燃ごみ 1人1日当たりの量 (令和元年度)



4. 可燃ごみを減量化するメリットは？ (ごみ処理に係る経費)

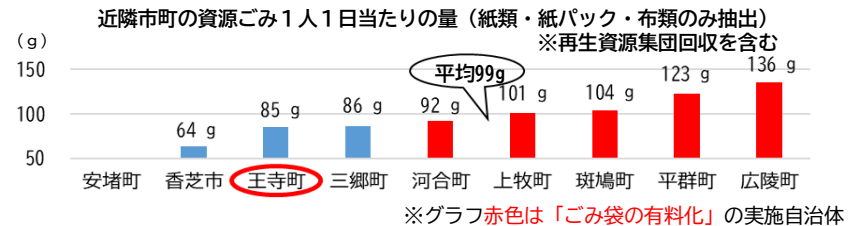
- 令和元年度の王寺町のごみ処理に係る経費は、約2億5,900万円で、**住民1人当たり年間約11,000円**の費用がかかっています。
- 仮に、可燃ごみの量を近隣市町の平均程度まで減量(Δ100g)できれば、**年間約1,200万円(住民1人当たり年間約500円)の経費削減**につながります。
- 令和4年度からプラスチックごみの分別収集が義務化されます。今後増加する再生資源の処理費用負担を抑えることにつながります。

ごみ処理経費の内訳 (令和元年度)



5. なぜ、王寺町は「可燃ごみ」が多いのか？

- ① 王寺町は、**プラスチックごみの分別収集を実施していません**。**(現在 可燃ごみで収集しています)**。
 - 今年6月「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が成立し、今後、プラスチックごみの分別収集やリサイクルが義務化されます。
- ② リサイクルにつながる資源ごみ(紙類・紙パック・布類のみ抽出)の量を、近隣市町と比較してみますと…。
 - **王寺町の1人1日当たりの量は85gで、広陵町より約4割(Δ51g)少なくなっています。**
 - 収集員から「**可燃ごみの日にダンボールが出されている**」との報告もあります。



6. 目指そう! 1人1日当たりマイナス100g!

今まで見てきたことから、王寺町のごみの量が多いことはわかりました。ごみ減量化には「**ごみ袋の有料化が有効**」なことは近隣市町の例からも見てとれますが…王寺町では、ごみ袋の有料化の検討の前に、**ごみの分別の徹底を図る**ことで、まず「**可燃ごみの減量化**」に取り組むこととします。

可燃ごみ1人1日マイナス100g (Δ93g ≒ Δ100g)

- これは通常サイズのみかん約1個分に相当する重さ!
- ※可燃ごみ 王寺町1人1日当たり 570g ⇒ 近隣市町平均値 477gを目指す。



⇒ごみ袋有料化の前に、住民1人1人の努力でごみの減量化を実現しましょう。